

「(2015年シドニー大学スプリングスクールプログラム) 参加報告書」

京都大学経営管理大学院・国際プロジェクトマネジメント専攻1年 朴晟雄

1. 学習生活

SEND プログラムを通しての経験は日本での約一年の留学生活における最高の経験だと考えています。最初の理由は、派遣前に日本の学生たちと SEND プログラムの準備をしたことや、現地での滞在を通して、日本とオーストラリアの学生たちの考え方、行動を知り、そして日本の文化をもっと深く学ぶことができたからです。2つ目の理由は、派遣前はオーストラリアをよく知らなかった私が、シドニー大学のプログラムに参加し、オーストラリア文化、生活について集中的に学び、理解を深めることができたという点です。この二つの理由から、SEND プログラムの主な目的である日本、オーストラリア間の架け橋の役割ができる人材になるための基本要件を備えることができたと考えられます。

2. 海外での経験

オーストラリア建国の背景と国家の形成過程について学ぶことが出来ました。オーストラリアは Cook 船長が発見して以来、イギリス国内での囚人の収容が難しくなったため、オーストラリアに囚人を流したのをきっかけに国家に発展しました。また、オーストラリアの原住民であるアボリジニに対する歴史と現代におけるオーストラリアでの地位などについて学ぶことができました。また、プログラム学習後、現地の見学や現地の学生らとの交流を通して、オーストラリアの多民族文化、実際の生活と関係がある Laid back 文化、食文化などについて理解を深めることができました。

3. プログラムの内容

プログラムは英語学習、現地見学、学生との交流が主でした。英語学習ではオーストラリア文化と関係がある内容を含んだ教材を利用し、学習しました。最終的には日本とオーストラリア文化を比べ、グループプレゼンテーションしたり、個人エッセイを作成して提出しました。まだ現地見学では地元の農場、Manly Beach を訪問しました。最後は、日本で用意した日本文化交流に関する発表をしながら現地の学生たちに日本文化を伝える機会を持つことができました。

4. 進路について

オーストラリアは成長する国家だと思います。人口は少ないですが、投資するならリスクの低い、安定的な見通しの市場だと学びました。人口に比べて資源が豊かだが、財源不足による未開発資源も多いため、現在、日韓の両国がリスクを分担してオーストラリアに投資しているインフラ開発事業で貢献したいと思いました。